

令和元年度第2回江田島市総合教育会議 議事録

令和2年3月16日(月)、江田島市役所本庁4階会議室において、令和元年度第2回江田島市総合教育会議を開催しました。

1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後 2時00分

閉会 午後 3時35分

2 出席者

(1) 構成員

市長	明 岳 周 作
教育委員会教育長	小野藤 訓
教育委員会教育長職務代理者	三 島 雅 司
教育委員会委員	樋 上 美由紀
教育委員会委員	柳 川 政 憲
教育委員会委員	泊 野 仁 美

(2) 関係者(教育委員会事務局)

教育次長	小 栗 賢
学校教育課長	山 近 宏
生涯学習課長	松 岡 弘 倫
学校給食共同調理場総括場長	福 岡 洋
大柿自然環境体験学習交流館長	西 原 直 久

(3) 総合教育会議事務局

総務部長	仁 城 靖 雄
総務課長	矢 野 圭 一
総務課 総務情報係 主任	花 野 泰 司
総務課 総務情報係 主任主事	脊戸土井 淳

3 傍聴人

0人

4 議事日程

- (1) 議事録に署名する者の決定について
- (2) 協議第4号 江田島市教育大綱(案)について
- (3) その他

5 議事の概要

○ 矢野総務課長

ただ今から、「令和元年度第2回江田島市総合教育会議」を開催いたします。

現在、出席されている構成員は、6人でございます。

本日の議事日程は、「資料1」のとおりでございます。

なお、本日の会議には、構成員の皆様に出席していただいたほか、教育委員会事務局職員5人、総合教育会議事務局職員4人が出席しております。出席者の紹介は、お手元の「資料2」に代えさせていただきます。

それでは、開会の挨拶を、明岳市長が行います。明岳市長、よろしくお願いいたします。

○ 明岳市長

皆さん、こんにちは。座ったままで失礼します。

本日は、昨年第1回目を開いて、今年度2回目の総合教育会議でございます。どうぞよろしくお願いいたします。先月2月25日の2月定例会において小野藤教育長、樋上委員の同意議案を出しまして全会一致で同意をいただきました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議では、「江田島市教育大綱（案）」について協議したいと思います。

この件については、事前に皆さんに素案をお配りしております。今日は修正を加えたものを配付しております。各委員さんにおかれましては、どんなことでもいいので御意見を賜りたいと思います。地域の教育を、子供たちにとって、よりよいものにしていきたいと思っておりますので本日はよろしくお願いいたします。

○ 矢野総務課長

ありがとうございました。

それでは、議事進行は、明岳市長にお願いしたいと思います。明岳市長、よろしくお願いいたします。

○ 明岳市長

それでは、私の方で会議を進めさせていただきます。

本日の会議は公開となっておりますが、本日は残念ながら傍聴の申込みがありませんでした。それでは、さっそく議事に入らせていただきます。

まず、次第の「(1) 議事録に署名する者の決定」についてです。

江田島市総合教育会議運営規程第14条第2項の規定によりまして、私とともに議事録に署名をする方を決定させていただきます。この件につきましては、平成27年7月21日に開催されました、平成27年度第1回江田島市総合教育会議におきまして申合せをいたしております。資料2の名簿の構成員の下段からの順番ということにさせていただきます。今回は、樋上委員にお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、江田島市総合教育会議運営規程第14条第1項の規定によりまして、議事録を作成する者は、総務課 花野主任を指名いたします。

それでは、次の議事に入らせていただきます。「(2) 協議第4号 江田島市教育大綱（案）について」でございます。

江田島市教育大綱を定めるに当たりまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第2項の規定に基づき、会議の意見を求めるものでございます。

詳細は、矢野総務課長から説明いたします。よろしくお願いいたします。

○ 矢野総務課長

それでは説明させていただきます。右上が別紙説明資料となっているA3縦の資料で説明します。委員の皆様には事前配布した江田島市教育大綱（案）を要約したものでございます。

1 策定の趣旨です。本市では、平成27年7月に「江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「現行大綱」という。）」を策定し、地域住民の意向をより一層反映した施策の推進に取り組んでいます。今年度末をもって、現行大綱の対象とする期間が終了することから、令和2年度以降の本市の教育行政を推進するための基本指針を定めるものとして、新たに江田島市教育大綱（以下「教育大綱」という。）を策定します。

2 教育大綱の策定の方針です。現行大綱に引き続き、市の最上位計画である第2次江田島市総合計画その他関連計画との整合を図りながら、教育大綱では、教育委員会で主要事業として位置付けている「里海教育」を項目として加え、4本の柱とし、本市の教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めます。

3 教育大綱の概要です。学校教育、生涯学習、スポーツの振興、里海教育の四つの項目に分けてそれぞれ基本理念を掲げています。この四つの基本理念を合わせることで相乗効果を生み、人が育ち輝くまちを目指すものでございます。

それでは学校教育の項目から説明します。学校教育の基本理念は「生きる力が生まれ、信頼される学校づくりを進めます。」です。

続いて、基本方針です。各調査結果を分析し、授業改善等を行うことにより、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準を向上させます。また、急速に進展するグローバル化や情報化への対応を図ります。

重点目標は4点掲げています。1点目は社会に開かれた教育活動の推進、2点目は「豊かな心」や「健やかな体」の育成、3点目は「確かな学力」の育成、4点目は地場産品導入事業です。

施策の方向性として3点掲げています。1点目は小中学校教育の充実です。子供たちが未来社会を切りひらくための資質・能力を育成し、自ら学ぶ意欲や知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力等を重視し、「生きる力」を育む教育を充実させるとともに、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体の育成を目指します。2点目は学校と地域・家庭の信頼関係です。組織的な学校体制のもとで、教職員を育成するとともに、学校評価の充実等を行うことにより、開かれた学校づくりを進め、学校・家庭・地域の連携により信頼される学校を目指します。学校給食では、安全・安心な学校給食を提供し、食を通じた地域への愛着を高めます。3点目は学校施設の整備です。安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した校舎等の修繕及び改修を行うとともに、学校統合による遠距離通学の児童生徒を支援します。また、教育の情報化に対応するため、ICT機器の整備を計画的に行います。

次に生涯学習です。基本理念は「誰もが生涯を通じて学び、活動し、生きがいを感じ、輝けるよう進めます。」です。

続いて、基本方針です。市民ニーズにあった講座を実施するなど、生涯学習講座の充実を図ります。また、市美術展など文化芸術に接する機会の充実を図るとともに、人権教育啓発や家庭教育の効果的な事業展開、図書館の利用者増加に努めます。

重点目標は4点掲げています。1点目はいきいきとした人生を送る生涯学習の推進、2点目は文化・芸術活動の支援と鑑賞機会の充実、3点目は伝統・歴史文化財の保存活用、4点目は学校・家庭・地域の協働による教育力の向上です。

施策の方向性は3点掲げています。1点目は生涯学習活動の支援です。市民ニーズに合った講

座を実施するなど、生涯学習の充実を図ります。また、市美術展やコンサートなど文化芸術に接する機会の充実を図るとともに、児童や青少年の居場所づくり、体験学習などの機会の確保・充実に取り組みます。さらに、家庭教育や人権教育啓発に係る事業を効果的に展開するとともに、図書館においては、市民の要望や意見等を取り入れながら利便性を高め、利用者の増加と読書活動の充実に努めます。2点目は社会教育施設の整備です。生涯学習の活動拠点となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、社会教育施設の再編・整備について検討します。3点目は伝統文化・文化財の保存です。市民の文化財についての興味や関心を高めるとともに、本市外の人々の関与も考慮しつつ、伝統文化や文化財の保存などに関わる団体を支援していきます。今後も、文化財の保存・管理を適切に行い、地域の宝である文化財を次世代に継承していきます。

次に、スポーツの振興です。基本理念は「誰もが興味や体力等に応じて、スポーツ・レクリエーションに親しめるよう進めます。」です。

続いて、基本方針です。地域で行うスポーツ大会で、スポーツ推進委員や運動普及推進員などと連携し、体力づくりや健康づくりの普及・推進を図ります。また、市民ニーズに対応した運営を行うために、体育協会、スポーツ少年団など地域団体と連携し、充実に努めます。

重点目標は2点掲げています。1点目はスポーツ活動団体の支援、2点目はスポーツ施設の見直しです。

施策の方向性は2点掲げています。1点目はスポーツ・レクリエーションの普及・振興です。地域で行う運動会を始め、各種スポーツ大会において、スポーツ推進委員や運動普及推進員などと連携し、体力づくりや健康づくりの普及・推進を図ります。総合型地域スポーツクラブについては、市民ニーズに対応した運営を行うために、事務局体制の強化や指導者のスキルアップ、運営プログラムの充実などを図っていくとともに、市体育協会、スポーツ少年団など地域団体と連携し充実に努めます。2点目は社会体育施設の整備です。スポーツ活動の場となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション施設などの再編・整備について検討します。

最後に、里海教育です。基本理念は「自然に親しみ、知的好奇心や探究心を育て、郷土を愛する豊かな心を育みます。」です。

続いて、基本方針です。「里海」を教育資源と捉え、自然体験活動や探究活動の充実を図ることで、ふるさとの自然に親しみ、自然に対する知的好奇心や探究心を育むとともに、豊かな感性や情操を育み、ふるさとに愛着や誇りを持つ豊かな心を育みます。

重点目標は2点掲げています。1点目は「里海」を教育資源とした特色ある教育の推進、2点目は「海を活用した知の拠点」としての施設整備と事業の充実です。

施策の方向性は2点掲げています。1点目は「里海」を教育資源とした特色ある教育の推進です。さとうみ科学館において、「里海」を教育資源とした本市ならではの「特色ある教育」を推進し、学校教育・社会教育の両面から、幅広い年齢層を対象とした自主的・継続的な理科教育・環境教育の充実に努めます。自然体験活動や調査・研究活動（科学研究）などを通じて、ふるさとの自然に対する知的好奇心や探究心、実感を伴った豊かな自然観を育成し、問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てます。また、ふるさとの自然を大切に、郷土を愛する豊かな心を育む教育活動を推進します。2点目は「海を活用した知の拠点」としての施設整備と事業の充実です。「海辺の自然について学ぶなら江田島市へ」という認知度を高め、人が集い、交流しながら学び、楽しむことができる「海を活用した知の拠点」としての施設整備と事

業の充実を図ることで、利用者の利便性向上と幅広いニーズへの対応を図ります。

4 対象とする期間です。令和2年度から令和6年度までの5年間といたします。

5 今後の流れです。この会議で協議して得た意見を参考に案を修正し、今年度中に策定します。その後、市ホームページで公表します。

6 根拠規定です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律を抜粋したものを掲載していません。説明は以上です。

○ 明岳市長

ありがとうございました。大綱案の1ページの「はじめに」を読んでください。

○ 矢野総務課長

それでは江田島市教育大綱（案）の1ページをお願いします。

江田島市では、平成27年7月21日に、第2次江田島市総合計画の「教育・文化部門」を基本とし、「江田島市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を策定しました。

策定以降、第2次江田島市総合計画で掲げる「人が育ち、輝くまち」を目指して、様々な施策に取り組むとともに「島ならではの魅力的な教育を受けることができる江田島市」づくりを推進しています。

この間、国においては、第3期となる教育振興基本計画が平成30年6月に閣議決定されました。この中では、第2期教育振興基本計画で掲げた「自立」、「協働」、「創造」の三つの方向性を実現するための生涯学習社会の構築を目指すという方向性を引き継ぎつつ、社会の変化を見据えた今後5年間の教育政策の目標と施策群が示されています。

本市としても、人口減少・高齢化の進展、急速な技術革新等といった変化の激しい社会に対応していくため、教育が担うべき役割を明確にしておく必要があります。

義務教育においては、「子どもたちの能力を伸ばし、社会でたくましく生きる力を育成すること。」、「社会人となる基本的な資質を養うこと。」、生涯学習においては、「スポーツの振興や文化・芸術の振興等、市民が生涯を通して学ぶこと。」、これらの教育行政を更に進めてまいります。

この度策定する「江田島市教育大綱」においても、第2次江田島市総合計画と整合を図りながら、教育行政の根本となる方針を定めます。

今後は、新たに策定するこの大綱に沿って、「ふるさとの自然や歴史を知る子どもは、ふるさとを語る大人になる。」をキャッチコピーに、島ならではの魅力的な教育を推進してまいります。

令和2年3月 江田島市長 明岳 周作

○ 明岳市長

この「はじめに」は今朝職員に渡したところで、時間が掛かったのは後段の義務教育の部分で、先日の議会で任命の同意を受けた教育長がどういった姿勢で取り組むのか表明したことです。市長と教育長が一体となって教育行政をやっていかねばいけないということで、ここに入れさせていただきました。

一番下にある「ふるさとの自然や歴史を知る子どもは、ふるさとを語る大人になる。」は、さとうみ科学館の西原館長のキャッチコピーに「歴史」を付け加えて新たなものにさせていただきました。江田島の自然や歴史を知ってもらいたいという強い思いをここに入れ込んで、このページを作らせてもらいました。

「はじめに」の部分も含めて皆様から御意見を賜りたいと思います。それでは、先ほど矢野課長から説明がありましたけれども、質問、御意見等をいただければと思います。

- 樋上教育委員会委員
今回の案と前回いただいた素案との修正点を教えていただきたいです。
- 明岳市長
花野主任よろしく申し上げます。
- 花野総務課総務情報係主任
基本的な部分に変更しておらず、字句の修正等を行った部分があります。4ページの基本方針の里海教育で「自然に対する知的好奇心や探求心を育むとともに、豊かな感性や情操を育み、」の部分「育み」が続くので「、」にしました。その他内容について変更している部分はございません。
- 明岳市長
新学習指導要領の全面实施はいつからですか。
- 花野総務課総務情報係主任
小学校は2020年度で、中学校は2021年度です。
- 明岳市長
5ページの「新学習指導要領の全面实施を控え、」の部分「小学校においては2020年度(令和2年度)、中学校においては2021年度(令和3年度)から実施」などに変えたらどうでしょうか。「控え、」の表現は少し間が開くようで気になっていました。
- 明岳市長
樋上委員ほかに何かありますか。
- 樋上教育委員会委員
3ページに四つの項目について、上段で「学校教育」、「生涯学習」、「スポーツの振興」に関わる記述はあります。しかし、「里海教育」に関わる記述がないので入れたらどうでしょうか。
- 明岳市長
確かにそうですね。
- 樋上教育委員会委員
今までは、生涯学習の中にスポーツ振興がありましたよね。今回スポーツ振興が一つの柱になった中で位置付けや意味合いがどのように変わったのでしょうか。地域の運動会等にも生涯学習課が関わってくださるのでしょうか。又は地域の運動会には地域支援課が関わるのでしょうか。4ページに書かれているスポーツの振興は、地域で行うスポーツ大会やスポーツ少年団など、今

までもやっていました。今回スポーツ振興という柱を立てるに当たってどのような思いや施策があるのでしょうか。

○ 明岳市長

この点についていかがですか。

○ 花野総務課総務情報係主任

総合計画もそうですが、前回の大綱でも「スポーツの振興」は柱の一つとなっています。今回の大綱はその内容を踏まえたものとなっています。

○ 樋上教育委員会委員

生涯学習課が今までスポーツ振興に関わっていましたよね。

○ 明岳市長

はい、組織としてはそうですね。

○ 樋上教育委員会委員

細かいことになりますが、誰が地域の運動会に関わっていくのかという点が知りたいです。

○ 松岡生涯学習課長

書いてある地域のスポーツ大会には、今年度始めた市民スポーツ大会があります。最終的には各地域の市民の方にスポーツをしていただきたいという思いがあります。スポーツ大会は、スポーツ推進委員や体育協会などの色々な組織が関わっており、今は市全体でやっていますが最終的には各地域でスポーツを楽しんでいただく予定です。従前であれば、地域の町民体育祭という形でやっていたものが無くなっていきっており、また以前の姿に戻ればということでこちらに書いております。

○ 樋上教育委員会委員

生涯学習課としてということですか。

○ 松岡生涯学習課長

生涯学習課としてといいますか、体育協会を始めとしたスポーツ組織の中で、スポーツ振興計画の枠組みの中で、ということになります。

○ 明岳市長

今の説明では腹に落ちないということですね。もう一度樋上委員から、どの部分についての意見かを教えてもらえますか。

○ 樋上教育委員会委員

地域の運動会の主催はまちづくり協議会がほとんどではないのですか。

- 松岡生涯学習課長
今はまちづくり協議会のみで活動しています。その中にスポーツ推進委員や体育協会が加わって行って、下火になっているスポーツを盛り上げていきたいと考えています。
- 樋上教育委員会委員
ということは、まちづくり協議会と協力していくということですね。それであれば、地域支援課との連携も必要になってきますよね。
- 松岡生涯学習課長
そこまではできていませんが、市のスポーツ大会の中で自治会のトップの方など色々な方に参画していただいており、最終的にはまちづくり協議会までつなげていきたいと考えています。
- 樋上教育委員会委員
地元の皆で体を動かすことができたのは運動会でした。今は高齢化して、子供も少なくなって消えつつあります。そういった地域の運動会を支援するという意味で私はとらえました。それにしては若い方に訴求する内容があまりないように思います。
- 小栗教育次長
運動会に固執しているわけではなく、スポーツ大会ということです。ボッチャのようなニュースポーツがありますが、以前江田島町の山田地区でもやっていただきました。今までのスポーツだけをやっていこうというわけではなくて、誰でもできるようなスポーツを広げていこうと思っています。
- 樋上教育委員会委員
言われていることは良く分かります。私は中身的には今までの運動会を変えていけばいいと思っています。新しい指導者が入って、新しい動きの中で地域スポーツ大会をまちづくり協議会と連携してできれば本当にいいことだと思います。子供も大人も体を動かすことができるのがいいと思います。
- 小栗教育次長
今回は、スポーツ振興については、スポーツ推進委員をもっと活用していこう、もっと地域の中に入れていただくということでこのような書き方になっています。ここに地域支援課と書くよりも、まずはスポーツ推進委員を活用していこうという思いがあります。
- 樋上教育委員会委員
スポーツ推進委員を活用するに当たり、誰かが言ってもらわないと今までどおりになると思います。市として、こういう思いで地域のスポーツを盛り上げるということが上手く伝わってこないと思います。運動会にこだわる必要はありません。
- 小栗教育次長
これは大綱で大枠を作っていますので、スポーツ推進委員や教育委員会はこのようにやってい

きますという意気込みと考えるともらえればよいと思います。

○ 樋上教育委員会委員

具体的なことが書かれていないと前回と同じことになりすし、地域の運動会はどんどん廃れていく一方なので、考えてもらえればと思います。

○ 小栗教育次長

本来であれば、大綱の下に実施計画を作っていけば一番いいことではありますが、経営計画の中にこの大綱の精神を盛り込んでいくことになると思います。スポーツでいえばスポーツ推進計画など他の計画と整合を図っていくことになります。

○ 明岳市長

大綱の中にどんどん書いていったらいいのではないのでしょうか。

○ 小栗教育次長

書いていってもいいですが、今回は細かく書くのではなく、こういう方針でいきますよということを書いています。

○ 明岳市長

「地域で行う運動会や市民スポーツ大会などで」と書くのはどうでしょう。

○ 矢野総務課長

教育次長が言われたように、大綱なので大まかなところを書いていって、細かいところに関しては各関係機関や教育委員会と協議して具体的なことを決めさせていただきたいと考えております。細かく書くのは大綱に似つかわしくないと思います。

○ 明岳市長

そうでしょうか。分からないことがあれば書けばいいではないですか。樋上委員さんが感じる感覚が普通だと思いますよ。例えば運動会や実際今年度行った市民スポーツ大会を入れることは別に問題があることではないのではありませんか。

○ 矢野総務課長

それらを盛り込むとなると大綱自体を出すタイミングが遅れてしまうと思います。

○ 樋上教育委員会委員

別にいいのですよ。それを思ってくださいれば。運動会はどこも下火になっています。これはスポーツとはいえないのではないかと、いうことをやっていることもあるので、もう少し皆が健康になるようなスポーツ大会ができればと思っています。

○ 小野藤教育委員会教育長

さきほど出た山田地区の例は、どんなことをやったかスポーツ推進委員と一緒に聞いてみます。

- 樋上教育委員会委員
まちづくり協議会とスポーツ推進委員の連携は今無いと思うので、各地域で力を発揮できるようにお互いが協力していけばいいと思いました。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
私も「地域で行う運動会」という表現に疑問を感じました。地域の運動会を以前は行っていました、今は行っていません。
- 樋上教育委員会委員
「地域のスポーツ振興」の方が誤解を生まないのではないのでしょうか。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
私の地元ではウォーキングの会を自治会でやろうとしており、その中にスポーツ推進委員が入って、最初と最後の体操をやってもらうなどしています。
- 樋上教育委員会委員
私の地区でもウォーキングをやっていますが、スポーツ推進委員は関わっておらず、そのような組織にもなっていない。スポーツ推進委員や運動普及推進委員の存在が見えないですね。スポーツ推進委員や運動普及推進委員による地域での活動はないですね。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
スポーツ推進委員や運動普及推進委員が体操を行う、自分の得意なスポーツクラブを立ち上げるなどの活動は行っています。
- 樋上教育委員会委員
「地域スポーツの振興」と書いたらいいと思います。スポーツ推進委員や運動普及推進委員が地域の活動に関わってくれたらありがたいですね。
- 明岳市長
スポーツ推進委員と運動普及推進委員の違いを任命や所管組織の観点で説明してもらえますか。
- 松岡生涯学習課長
スポーツ推進委員の所管は生涯学習課で、各種スポーツ大会等に出て審判等をやってもらったり、学校や保育園でスポーツの指導をやってもらっています。運動普及推進委員は福祉部門所管で体操やウォーキングをされています。
- 明岳市長
各地区にいるのですか。

○ 松岡生涯学習課長

全地区にいるかは分かりませんが、全体で25人です。先ほどの山田地区のように、まちづくり協議会から要請があれば、地区の学校の体育館などでスポーツ大会を行う時にはスポーツ推進委員も参加して活動を行っています。

○ 明岳市長

よろしいですか。ほかにありますか。

○ 柳川教育委員会委員

さとうみ科学館は、他の地域にはない施設で江田島市にとってキーになるものだと思います。別紙説明資料で「利用者の利便性向上と幅広いニーズへの対応を図ります。」とあるが、「幅広いニーズ」が分かりにくいのではないのでしょうか。観光イコールさとうみ科学館というわけではないので、学ぶために江田島市に来てもらえるような誘致の仕方を積極的にやってもいいのではと思います。

○ 明岳市長

西原館長いかがですか。

○ 西原大柿自然環境体験学習交流館長

ありがとうございます。さとうみ科学館はこれまで学校教育の中で小学校、中学校、高校を含めて利用される施設というイメージが強いのではないかと思います。もちろん、これからも学校教育での支援を行ってまいります。それ以外の地域の方も含めて、大人から子供まで様々な方を対象に、里海を資源として教育プログラムのコンテンツを観光にも活用していきたいという思いが含まれています。そういった意味で、利用者の利便性を向上させていきたいと考えています。「幅広いニーズへの対応」というのは、あくまでも様々な方々にさとうみ科学館の教育プログラムをしっかり活用いただくためのものです。現在リニューアルの検討を進めていますが、利用しやすい施設という意味で利便性の向上を図りたいと考えています。研修だけでなく見学を含めて、様々な使い方があるのではと考えています。少しアバウトな表現になってはいますが、色々な意味を込めています。

○ 明岳市長

今回4本の柱に里海教育を据えることは私も大賛成です。さとうみ科学館はリニューアルという観点で、計画構想を作っています。その中で事業費が今、13億円から14億円という、ばく大な金額になっております。先般、湯崎知事に江田島市に来ていただいた時に、なんとか県内唯一の自然史系の博物館を設置する支援をしていただけないでしょうかと直訴したのですが、リニューアルに13億円、14億円を掛けることについて反応が非常に悪いのです。今のさとうみ科学館の素晴らしさは、実際に現地に行って見学する実体験ですが、それに掛かる費用は現在いくらですかと。例えば職員が何人いて、そのほか水道光熱費等がどのくらい掛かりますかと考えたら、大きな金額ではなく2～3,000万円です。10数億円かけるのであれば、もっとそういった部分に力を入れるべきではないのかというのが知事の考え方ではないかと思います。そうはいつても、建物は老朽化して耐震性もない、私たちとしては場所的なものも含めて何とかリニュー

アルしたい。新しいホテルの近くで交通の便もいい場所に設置して、たくさんの方に来てもらいたいという夢があります。だから、このような構想になっています。そうすると、ターゲットを誰に絞るのかと質問されます。ターゲットを誰にして、どこから何万人呼んでやっていくのか採算性を常に問われます。私は、さとうみ科学館については採算性にとられる資産ではないと思っています。

○ 柳川教育委員会委員

それだったら岸根のようなところで、プロポーザルで観光施設を誘致したらいいけれど、そういったことはどこでもありますよね。瀬戸内海だったら。

○ 明岳市長

知事が言われることは、別の観点で見れば確かにその通りです。私たちも13億円というお金をどのようにしていこうか考えたとき、本市では今年16億5,000万円ほど財政調整基金を使いましたから、令和2年度末は29億円になります。そうすると非常に苦しい。何とか色々な補助や企業の力を借りてこななければいけない。そうすると、さとうみ科学館として、どのようなところに重点を置いて、どのように力を入れて、県内で唯一の代表的な教育施設であり、かつ、人が来る交流施設にしたいという思いがあるのか、今からそれを作っていかなければならない。そういった意味で「利用者の利便性向上」は、ある意味別の視点ですね。本当に宝だと思っているので、実現したい。知事には今の場所でも十分に感動する施設にできるという思いがあるのではないかと思います。もっと人が来る交流施設を目指すなら、職員を配置して土日を開く等の強化をすべきではないのかという視点もあると思います。外から来ようと思う人は大体土日になると思いますが、現在、土日は開いていません。土日は開いていないから知られていない。私としては、土日を開けて代休で振替にしてもらったらいいのではと思いますが、なかなかそのような仕組みになっていません。どうしたらよいかと悩ましいところです。

○ 柳川教育委員会委員

知事の支援を受けるのであれば、あくまで観光ありきということになりますよね。

○ 明岳市長

観光ありきというわけではなく、さとうみ科学館の素晴らしさは理解していただいています。知事には10年前と今回来てもらい、感動してもらいました。非常にいいですねと。カブトガニも見てもらったりして。しかし、素晴らしさは理解するけれど、13億円を投資するだけのものがあるのかという投げ掛けをされていますから、それに対する答えを考えています。議会にも3月末に全員協議会を開いて今の状況を説明しますが、今悩んでいるところです。

○ 柳川教育委員会委員

最近はコロナウイルスとかもあって、今からやっというとする観光がことごとく壁に当たって将来が見えない感じがしてきましたね。さとうみ科学館は江田島市の武器になるのではと思います。

○ 明岳市長

本当にそうです。カレンダー作りでも、小学生や中学生が自ら近海の生き物を見て、観察して絵に描いたものが連綿とカレンダーになっています。これは本当に素晴らしくて、誰もが驚きま
すけど、ほとんどの市民の方は知らないのではないかと思います。こういった部分をもっと積極
的にPRして今までの物を冊子にするなどしていきたいと思っています。ここは、大事なところ
です。だから、里海教育を柱に立ててくれたことが私は非常に嬉しいです。柳川委員は、さとう
み科学館は教育施設というのがまずありますよね。私もそう思っています。大事な教育施設です
し、江田島市だけで学べるすごい施設にしたいという思いはあります。ただ、第三者から見たら、
江田島市の規模でなぜそこまで投資する必要があるのかという発想もあります。それに打ち勝つ
ものを今から検討していく必要があるということですね。

○ 西原大柿自然環境体験学習交流館長

よろしいでしょうか。柳川委員の御発言ですが、里海教育を今まで全面的に表に出していな
かったというよりも、学校教育課の所管であったり、生涯学習課の所管であったりして、教育大綱
や総合計画の中で各課の一事業としての取組をしてきたのがこれまでの現状でございます。

平成29年度からさとうみ科学館は一つの課としての位置付けで進める中で、これまでの約1
8年の事業の実績を踏まえて、改めて里海教育をもっと表に出して、しっかりと本市の特色のあ
る教育を進めていきたいため、柱とさせていただきます。これからは総合計画も含めて、さとう
み科学館をしっかりとアピールできるように、江田島市に來れば海について学ぶことができる
というイメージができるようにやっていきたいと考えています。

○ 樋上教育委員会委員

「利用者の利便性向上」について私は全くおかしいとは思いませんでした。子供たちの教育と
観光を表裏一体にしたらいいと私は思います。今回は流れましたけど、「一步」でさとうみ科学館
に色々な方に来てもらって見てもらいたいという思いがあります。外から子供だけでなく様々な
年代の方が来て見て勉強してもらおう中で、瀬戸内海の海を、江田島市の海を知ってもらうのは大
事なことだと思います。教育現場だけの幅ではなく、もう少し幅を広げたらいいと思います。

○ 柳川教育委員会委員

例えば20年後、30年後にこんな素晴らしい施設になった。この施設をどうしようと悩ん
でいた時期があったのが信じられないくらいと思えるようになったらいいですね。

○ 明岳市長

そうですね。おっしゃる通りだと思います。江田島市は教育に力を入れていることをアピール
したいという思いが根幹にあります。素晴らしいですよ、18年間積み上げがあるわけです。
岸根の開発よりもこちらに力をいれたいと思いますよ。

岸根の開発は、民間ベースでやりたいという人がいたら、いくらでも側面的に支援します。た
だ、ホテルについては、市が5億円補助し、レーサムという業者が20億円かけて中町に建設し
て、そこを核にして全国から来てもらったり泊まったりしてもらいたいという思いがあります。
岸根も若手の方が12億円あったら開発すると言われており、非常にいいですけど行政に最初
から6億円出して欲しいということなのです。ちょっとそこに抵抗があります。でも、さとうみ

科学館は6億円出しても市民の方にも納得してもらえるのではと思います。本当に将来の江田島の宝物となる教育施設であり、いい観光交流施設になるという思いがあります。だから、里海教育を新しい柱として大綱の中に入れ込むということですね。

○ 明岳市長

そのほか何かありますか。

○ 泊野教育委員会委員

素案とホームページから出した現行大綱を読み比べてみました。新しく入ったのは里海教育で、それ以外は学校教育、生涯学習、スポーツの推進ですが、現行大綱からこの度進展したことや肉付けされたことがあれば教えてください。あと、12ページの主な取組の「学校施設の耐震化及び改修」について、まだ耐震化できていない施設はどこなのか教えてください。

○ 明岳市長

この2点について事務局からお願いします。

○ 山近学校教育課長

先ほど市長からありましたように新学習指導要領が令和2、3年度に全面実施されます。力を入れたところは、「開かれた学校づくり」や「ICT教育の更なる推進」です。グローバルな社会がやってきますので、プログラミング教育もスタートします。このようなところを少し強調する書き方になっています。さらに、学力の向上につきましては、この度の新年度予算に小中学校の学力調査を入れていただき、新規事業として行っていきます。これまで以上に力強く学力を高めていきたいという思いがございします。さらには、不登校の数がなかなか減少しにくいという状況がありますので、改善していきたいと考えています。

耐震化については、県からも耐震化が100パーセントになるように指導を受けております。しかしながら、三高中学校の1校については耐震化が終わっていません。6ページのウの「学校施設の整備」で、学校再編、規模適正化という言葉を使っていますが、児童生徒数が減少する中で学校規模の適正化を図りながら老朽化した校舎等の耐震化、修繕及び改修を図っていきます。学校統合も現在進めています。一刻も早く第二次答申に基づいた流れで進めていきたいと考えています。現在耐震化できていない学校は三高中学校です。以上です。

○ 明岳市長

学校教育課のほかはいかがですか。

○ 松岡生涯学習課長

生涯学習課については、基本は総合計画に沿っており大きな変更はありません。施設の再編に伴い、市民センター、交流プラザ等名称が変わっているところはそのように変更しています。伝統文化の部分では、海上自衛隊について書いており、レンガ造りを歴史遺産として継承する必要があることを記載しています。13ページの主な取組で、障害者の方にも使いやすい図書館になるよう書いております。

- 明岳市長
松岡生涯学習課長の説明の中で、障害者の方に関することが出てきましたが、どういう内容ですか。
- 松岡生涯学習課長
13ページの主な取組の公立図書館の連携や年齢・世代別及び障害者など利用者に応じた図書館サービスの充実ということになります。
- 明岳市長
この部分は今回付け加えたのですか。
- 松岡生涯学習課長
はい、世代別や特に力を入れようと考えているのは高齢者です。現在、図書館での読み聞かせは、保育園児、小学生を対象としていますが、自分で読むことが難しくなっている高齢者にも読み聞かせを企画しています。
- 明岳市長
あと、スポーツの関係で前回と違っているところがありますか。
- 松岡生涯学習課長
ほぼ文言の修正です。
- 明岳市長
泊野委員、今の説明でよろしいですか。
- 泊野教育委員会委員
はい、ありがとうございます。
- 明岳市長
三島委員どうぞ。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
3ページの基本理念は私も同感です。里海教育に関する記述の追加が必要と思います。里海教育は直接生き物に触れる教育ですよね。「自然に親しみ、知的好奇心や探求心を育て」とありますが、「生命」という言葉があってもいいのではと思いました。「尊厳」など色々な言葉がありますが、学校教育とつながっていくような表現があってもよいのではと思いました。
9ページの「確かな学力」とありますが、「確かな学力」とはどんなものですか。
- 明岳市長
「確かな学力」とは何ぞやということですね。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

9ページには「知識の理解の質を高め、確かな学力を育成します。」とありますが、具体的に私は社会に出てからの応用力を養うとか培うことが「確かな学力」につながるのかなと考えています。

○ 明岳市長

今、三島委員からあった2点についていかがですか。1点目の里海教育については西原館長からよろしいですか。

○ 西原大柿自然環境体験学習交流館長

確かに学校教育、生涯学習、スポーツの振興の3本の柱が書かれている中で、里海教育の記述がなかったので書かなければいけないと思いました。生命のことに関しては、まさに生き物の直接の観察がポイントになりますので、生命の尊重や愛護等に関する記述を加えるよう検討していきます。

○ 明岳市長

9ページの「確かな学力」はいかがですか。山近課長。

○ 山近学校教育課長

「確かな学力」とは大きく書けば「生きる力」となりますが、今後子供たちが社会に出ていく上で、どういった力を身に付けさせなければならないのか、というところが新学習指導要領で書かれています。その中で大きな柱が3本あります。1本目は知識及び技能の習得、2本目は思考力、判断力、表現力等、3本目が学びに向かう力、人間性等という言葉で書かれています。この3本の柱で子供たちを育てながら、子供たちが社会に出て何ができるようになるか、そのための資質・能力を養う。その基盤となる「学力」について、基礎・基本を徹底していきましょうという意味で私は考えています。以上です。

○ 明岳市長

その辺りを書いたらどうですか。

○ 山近学校教育課長

今は「等」という表現になっていますので、学びに向かう力や人間性等も入れて3本の柱を分かるようにしたいと思います。

○ 明岳市長

勉強も確かに重要かもしれませんが、心をちゃんと鍛えて欲しいのが私の思いです。特に市役所に採用されるのは非常に難しいですが、途中で折れてしまう人もいます。だから、スポーツで体を鍛えるのと同じように心も鍛えて欲しいと思います。そこは、3番目の柱の人間性のところだと思います。

- 三島教育委員会教育長職務代理者
9ページの「社会に開かれた教育活動の推進」とは、どのようなことを想定しているのか。
- 明岳市長
山近課長いかがですか。
- 山近学校教育課長
コミュニティスクールをイメージされているかもしれませんが、私たちにもそのイメージはあります。しかし、ここでは社会に開かれた教育活動、いわゆるカリキュラムマネジメントと申し上げた方がよろしいかと思えます。学校のカリキュラムを、各学校ごと各学年ごとに作り替えて、本当に地域に根差した教育活動が展開できるように総合学習の時間を中心に改善していくという意味合いが強いです。コミュニティスクールも当然考えていかなければいけないことだと捉えています。あえてその部分は、はっきりと明記していません。以上です。
- 三島教育委員会教育長職務代理者
カリキュラムをきちっと公表するということですか。
- 山近学校教育課長
はい。
- 明岳市長
教育長、今回三高小学校でやろうとしているモデルはどういった思いで行うのですか。
- 小野藤教育委員会教育長
今回の「社会に開かれた教育」の話とは少し違っており、個別最適な教育ということで、多様な子供がいる中で、学習についていけない、学級に入り込めない子供や不登校が増えています。新しい学びとして、考え、議論する中で学習していく、従来のように教師が指導して生徒が一斉に受けるのではなく、子供たちが自ら、もちろん教師の指導を受けながら、課題意識をもって多様的に学ぶものです。それを一つのモデルとして、一つの学校だけでなく、他の校区へも広がります。教師がこのモデルをやっていない学校に転勤したとしても、その学び方や授業の進め方は、他の学校においても活用できると思います。複数の学年を一緒に行うのもこのプランの形ですが、単学級でもこのような対応はできると思います。「社会に開かれた教育」は先ほど三島委員が言われたコミュニティスクールもありますが、あえてその言葉を使わずに書かせていただきました。
- 明岳市長
コミュニティスクールも今広がっているのではないですか。
- 小野藤教育委員会教育長
国は2022年までに全国の学校に普及させようと学校運営協議会の設置を推進しています。今は県立高校で行われています。現時点で必ずやらなければならないということではなく、目標として推奨されている現状です。

○ 三島教育委員会教育長職務代理者

1 2 ページの耐震化について、耐震化されていないのは三高中学校とありましたが、学校統合との関係で「耐震化」という言葉が入ることに疑問を感じました。たとえば、この学校のこの部分が耐震化されていないという場合であれば、「耐震化」という言葉を入れたらよいと思います。三高中学校を耐震化したら、最低10年は学校統合できないという話にもなってきませんか。

1 4 ページのスポーツの振興について、企業との連携は考えていますか。

○ 明岳市長

企業と言われると、Sea to Summit が頭に浮かんできました。

○ 小野藤教育委員会教育長

1 4 ページの「マラソン大会などのスポーツイベント」に Sea to Summit も入ってくると思います。先ほど樋上委員も言われましたが、地域の運動会をなかなか行えない現状の中で、新しい方向としてスポーツ推進委員が、高齢者が対応できるようなニュースポーツの器具を買っています。それを活用して自治会などの単位でスポーツができたと思います。今小学校では江田島小学校しかやっていますが、是非、他の小学校の年間10数時間行っているクラブ活動の中にも取り入れていきたいと思います。

○ 明岳市長

1 2 ページの主な取組の「学校施設の耐震化及び改修」について、山近課長いかがですか。

○ 山近学校教育課長

三島委員から、1校であれば入れる必要があるのかと御意見をいただきましたので、持ち帰って検討します。

○ 小野藤教育委員会教育長

1 2 ページのウのところ「老朽化した校舎等の修繕及び改修」となっていますので、「修繕及び改修」としたらいいですね。

○ 明岳市長

そのようにしたらいいと思います。

○ 小野藤教育委員会教育長

6 ページのウについても「耐震化」の言葉は取って、「修繕及び改修」にしたらいと思います。

○ 明岳市長

「学校規模の適正化を図りながら、老朽化した校舎の耐震化」とあります。平成27年に前の大綱は作られたのですよね。変えた方がいいですね。

○ 小野藤教育委員会教育長

平成27年に作ったときにはこの言葉が入っており、そのまま入っているのだと思います。

- 明岳市長
「行っています」なので現在進行形ですね。やはり「耐震化」は取った方がいいですね。
- 樋上教育委員会委員
生涯学習課において、以前PTAと連携して講演会を行いました。PTAや子供会活動の位置付けは、学校の中の組織ではなく、特に子供会活動は学校の外なので生涯学習課になりますね。その辺りが、家庭教育支援活動に入るか分かりませんが、子供会やPTA活動のまとめ役は生涯学習課ではやらないのですか。
- 松岡生涯学習課長
そうですね、生涯学習課ではそれらの活動の運営に関しては関与していません。
- 樋上教育委員会委員
子供会活動の事務局は生涯学習課で行っており、会議のとりまとめなどもやっているのですよね。子供会活動は昔と違って学校から離れていますので。
- 松岡生涯学習課長
会議の会場の設定等を行います。会議の運営の中身までは生涯学習課は入っていません。職員はその会議に出席しますが、ほぼ子供会の中で行ってもらっています。
- 樋上教育委員会委員
PTAはまとまれば、江田島市にとってすごい力になりますが、それぞれがバラバラですね。なかなか一つになりにくいところがあって、講演会を行っても生涯学習課に任せているところがありました。なので、そのような活動に支援ができるのが生涯学習課と思っていましたが。
- 松岡生涯学習課長
PTA連合会は、独立した団体になっています。なので、生涯学習課から指導するなどといった性質の組織ではないです。
- 樋上教育委員会委員
PTAは宙に浮いた会ということですか。PTAには学校からも独立しているところがあります。学校が関与することができないことはたくさんありますからね。特に子供会活動は完全に離れていますから、入りたい人は入れればいい、入りたくない人は入らなくてもいいところがあって、子供会活動は生涯学習課かと思いましたが。
- 松岡生涯学習課長
PTAよりも子供会活動の方が、生涯学習課は事務局を手伝っていますので関わりがありますし、子供会が行う事業等には協力はさせていただいています。
- 樋上教育委員会委員
事務局があるということはどこかに位置付けがあるのですか。

- 松岡生涯学習課長
現在なぜ生涯学習課が事務局を手伝っているのか私は把握していません。
- 明岳市長
P T Aの事務局は教育委員会にありますか。
- 小野藤教育委員会教育長
各学校で当番の持ち回りをしています。各学校でのP T Aと市全体ではP T A連合会があって、連合会の会長の学校に事務局があります。P T Aが2月に行っている人権講演会は生涯学習課と協力して行っています。P T Aだけだと予算の問題もありますが、生涯学習課と協力した方がより大きな活動ができるということになります。あと、P T Aで独自にやっている活動といえば、親睦も兼ねて行っている球技大会があります。私は、球技大会に行って祝辞を述べたりしています。
- 樋上教育委員会委員
もっとP T Aを育てていく部門はどこにもないのですか。P T Aがなかなかまとまらないところがありますが、生涯学習の考え方を取り入れた上で活動したらもっと浸透すると思います。子供会活動も含めて生涯学習課が関わっていくのは難しいですか。
- 明岳市長
そのような消極的な職員はいないと思いますよ。
13ページの主な取組の「家庭教育支援事業」は、具体的にはどのようなことをされていますか。
- 松岡生涯学習課長
これは小さな子を育てている親に集まってもらって、ファシリテーターが助言者として参加して、そこで育児の悩み等の相談をその場で行ってもらい、ファシリテーターがそこで結論付ける訳ではありませんが、助言をするという形の会を行っています。
- 明岳市長
子育て支援課と関係もありますね。
- 松岡生涯学習課長
子育て支援課との関係もありまして、子育て世代包括支援センターでも行ったことがあります。
- 明岳市長
「放課後の遊びや生活の場の確保」は放課後児童クラブのことですか。
- 松岡生涯学習課長
そうです。

○ 明岳市長

樋上委員の質問について、もう一度こうあるべきではないのかというところを説明してもらえますか。

○ 樋上教育委員会委員

昔からずっと思っていることですが、PTA世代は力がすごくあるのにそれを発揮できていないところがあって、PTAとして親として自覚を持つ場がないですよね。親の教育はなかなかすることがないですよね。親の教育力の低下が言われるのは、この辺りが原因ではないかと思います。親の教育を行う場があればよいが、学校だけではなかなか難しい。保育園や小学校低学年の親を教育していく必要があると思います。

○ 明岳市長

おっしゃるとおり、本当にそう思います。というのは、地域で世話になっていることに気付いてないというか、教えてもらってないのですよ。今の保護者は、当たり前だと思っている。私は秋月小学校のPTAの役をやったことがありますして、秋月同好会という地元のボランティア団体の人たちが毎年2万円ほど子供会に寄附してくれていました。多分、今もあると思います。

また、子供たちを海水浴に連れて行って、お菓子も配ります。そのとき、秋月同好会の人たちが保護者の方から何も言ってもらえないと悲しむわけです。自分たちが地域で活動して、古紙回収などをしてお金を貯めて子供会や敬老会に協力するわけですが、それらを保護者の方が感謝していないというか、何も言ってもらえないからやる気が薄れるというわけです。

でも、それは秋月同好会の人たちも保護者の方やPTAに伝えないといけないと思います。結局この部分は両方が下手だと思います。私たちも反省して、これではいけないと思いました。お互いが、自分たちはこのような思いでこのような活動に参加していますよとPTAの若い世代に言うことが必要だと思います。保護者がそのことに気付いて、地域に感謝してもらう。この取組をやっていかなければなりません、学校もそのことを知っておきながらそれには触れない。だから、そこを上手くリンクできるようにする必要があります。

では、具体的にどうするかといたら、地域の活動、自治会活動やまちづくり協議会が大事になってくると思います。樋上委員の言われることは、昔からの課題だと思います。正に「地域の子供は地域で育てる」を実践するには、地域の人も一生懸命にやって伝えて、保護者も地域の活動に参画することが大事ですが、若いときは地域清掃などに参加しないんですよね。それを何とかしないとイケないですね。

○ 樋上教育委員会委員

なかなか結論は出ませんが、もう少し子供会活動を支援する必要があるのではと思います。

○ 明岳市長

13ページの「障害者など」という表現は、もう少し柔らかい表現、「障害を持っておられる方」などの表現にして下さい。この部分は今回新しく付け加えたのですか。イメージとしては、図書館サービスとして目が不自由な人には点字を活用したり、録音したものを聞かせるということですか。

- 松岡生涯学習課長
点字もありますが，図書館長が1番に考えているのは対面朗読です。
- 明岳市長
対面朗読というと，そのような朗読を行うボランティアの人がいるわけですか。
- 松岡生涯学習課長
ボランティアはいませんが，今年度図書館長が対面朗読の研修へ何回か行っています。館長自身がやっていきたいという思いです。
- 明岳市長
いいですね。図書館長は三原さんですか。
- 松岡生涯学習課長
はい。
- 明岳市長
そのほか何かありますか。
- 小野藤教育委員会教育長
前回のものよりもずいぶん見やすく整理しています。里海教育もメインとして入れています。
- 明岳市長
そのほかに何か，気付いたことはありますか。気付きを言っていていただいて，それらの意見を踏まえて今から事務局が直して，皆さんにお示しさせてもらって，3月末までには公表したいと考えています。よろしいですか。
- 花野総務課主任
いただいた意見を整理して修正し，策定・公表させていただきたいと考えています。
- 明岳市長
教育委員会と一体になっておく必要があるので，直したものをもう一度送らせてもらうということでもいいですか。
- 花野総務課主任
承知しました。
- 明岳市長
今日いただいた意見を踏まえて直して，もう一度お配りして，この大綱を決定したいと思えます。よろしく願います。それでは，ないようでしたら「(3) その他」に入ります。冒頭で申し上げましたが，新年度予算も議決をいただいたということで，前回の11月の時には

新年度予算への計上ということでしたが、結果を説明してもらえればと思います。小学校・中学校の全学年をテストするというのがあるが、予算査定のときに見送ってはどうかと言いましたが、ほかの予算を削っても実施したいということで、山近学校教育課長が熱弁を振るってくれました。学校の先生の手間暇も増えるのではないかと思います。是非やらせてくださいと言うのですよ。では、ほかの予算を削ってくださいということで、少し削りました。考えてみると、11月のこの会議で子供たちの教育をどのようにやっていくかということで、三島委員や樋上委員から意見が出て、テストをやると言っていましたね。だから、固く決意してやってくれたのだと思います。これは大事なことで、子供にちゃんと学力を付けてくれるということは安心ですよ。その辺りを踏まえて山近学校教育課長お願いします。

○ 山近学校教育課長

小中学校の学力調査については、小学校では1年生から6年生まで国語と算数、そして3年生から6年生までは理科を加えて実施します。中学校は1年生と2年生で国語、数学、理科、英語です。まずは実態把握をしっかりと行い、課題を明確にして指導方法や内容の改善・充実に努めていきます。

○ 明岳市長

松岡生涯学習課長どうですか。

○ 松岡生涯学習課長

生涯学習課からは新規事業として四つ挙げて、ふれあいコンサート事業、ふるさと写真集発行业、民俗文化財継承事業を実施できることとなりました。オリンピック偉人伝事業については、講演会等の予算が確保できなかったため、生涯学習課では教育参考館展と併せた形で郷土のオリンピックというところで、オリンピックに関する部分を企画して来年度に実施しようと考えています。以上です。

○ 明岳市長

福岡学校給食共同調理場総括場長どうぞ。

○ 福岡学校給食共同調理場総括場長

本年4月からの給食費の見直しを行います。16年度ぶりの改正であり、保護者に負担をかけることとなりますが、学校給食の安定供給、安全・安心な給食の提供をこれからも進めていきます。引き続き地場産品の使用について、市内の企業回りをしながら、子供たちに食の大切さを伝えていきたいと考えています。以上です。

○ 明岳市長

西原大柿自然環境体験学習交流館長どうぞ。

○ 西原大柿自然環境体験学習交流館長

さとうみ科学館は、新規拡充事業の位置付けではありませんが、これまで通り里海学習を推進していきます。また、ハード面のリニューアルについては具体化に向けた情報収集、財源確保に

ついて引き続き調査・検討していきます。以上です。

○ 明岳市長

ありがとうございます。今の中で質問等ありますでしょうか。

○ 明岳市長

ないようですので、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。長時間にわたり誠にありがとうございました。進行を司会に返したいと思います。

○ 矢野総務課長

皆様、本日は、ありがとうございました。

以上をもちまして、「令和元年度第2回江田島市総合教育会議」を終了いたします。本日はありがとうございました。